

大崎地域でがん患者様の支援に携わる専門職の方へ



宮城県がん制圧イメージキャラクター

# NEWS

大崎保健所では、がん患者様の支援に携わっているコ・メディカル、福祉職の実務者連絡会議を開催しています。この連絡会議で共有された情報を実践者の皆様にお届けしますので、日常業務に御活用ください。

## 「わたしのカルテ」を御活用ください！



- 大崎市民病院（地域がん診療連携拠点病院）では、抗がん剤治療や麻薬処方を受ける患者様のうち、自己記録が可能な方に「わたしのカルテ」をお渡ししています。
- 「わたしのカルテ」は、患者様が体調や麻薬の管理状況等を記入し、より自身の体調や生活に合った治療を受けられるようにするものです。
- 「わたしのカルテ」をお持ちの患者様とお会いした時には、患者様の病状や生活状況等の記入を促してください。支援者のみなさんも、気づいたことがあれば記入させてもらい、情報共有を図りましょう。
- 「小さな良いこと」もぜひ記入してください。

「わたしのカルテ」をまだ配布されていない患者様には、主治医や看護師に申し出るようお声がけください。

### 「在宅患者訪問薬剤管理指導料」「麻薬小売業者」の届出薬局をご活用ください。

- 処方せんの備考欄に訪問指示のコメントを頂ければ月4回まで（がん末期は月8回まで）訪問可能です。
- 退院後スムーズに在宅移行できるよう、退院前カンファレンスに、調剤薬局の薬剤師も参加します。
- 医療用麻薬は、院外処方せんにより調剤して患者様宅へ届けることが可能です。
- 訪問の際に、レスキュー薬の使用頻度や残薬などを確認し、報告書にて情報提供いたします。
- 注射剤の処方せんに応需可能な薬局もあります（大崎管内に7薬局）。院外処方せんを発行いただくと、ディスプレイ注入ポンプに麻薬注射剤を充填し、自宅へ届けることが可能です。
- 携帯型ディスプレイ注入ポンプ、中心静脈栄養輸液セットなど、医療材料の一部も調剤薬局で取り扱い可能（保険請求可能）です。
- 自宅にある残薬の調整や有効活用につとめます。不要になった麻薬の回収と廃棄をいたします。

**お問い合わせ先** 大崎薬剤師会介護保険対策部会 TEL：0229-91-8052

FAX：0229-91-8053 メールアドレス：[m-ichinowatari@ainj.co.jp](mailto:m-ichinowatari@ainj.co.jp)

**参考**宮城県薬剤師会ホームページ：<http://www.mypha.or.jp>

- 大崎保健所では6月10日（水）午後6時30分から大崎合同庁舎で「がん治療の基礎研修会」を開催します。関係機関には通知を郵送しております。ぜひ御出席ください。
- 宮城県看護協会大崎支部では5月16日（土）にパレットおおさきで「看護のひろば」を開催します。トークショー「地域で安心して暮らしていくために」や体験型の催しを予定しています。参加無料。申込み不要。どなたでも参加できます。問合せは宮城県看護協会大崎支部（TEL52-5135）まで。